



2022年11月4日

各 位

会社名 ヤマシンフィルタ株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 山崎 敦彦
(コード番号: 6240 東証プライム市場)
問合せ先 取締役専務執行役員 井岡 周久
(TEL. 045-680-1671)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年11月4日開催の取締役会において、2022年5月13日に開示した2023年3月期通期(2022年4月1日～2023年3月31日)の業績予想の修正を行うことを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

1. 2023年3月期 通期連結業績予想数値の修正

(2022年4月1日～2023年3月31日)

(単位: 百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	17,800	700	650	458	6.41円
今回修正予想 (B)	19,230	1,380	1,240	855	11.95円
増減額 (B-A)	1,430	680	590	397	—
増減率 (%)	8.0%	97.1%	90.8%	86.7%	—
(参考) 前期実績 (2022年3月期)	18,821	1,344	1,317	47	0.66円

(注) 2023年3月期為替レート 米ドル 145円 (前回見通し公表時 122円)
ユーロ 144円 (前回見通し公表時 137円)

2. 業績予想の修正理由

① 建機用フィルタ事業

前回通期の業績見通しを公表した2022年5月13日時点と比較し、主要得意先の生産活動や建機の稼働時間は、中国を除く日本、米国、欧州、アジアといった主要市場においては、前年度と比較し減少傾向にあるものの、需要は引き続き高水準で推移しており、今後についても堅調に推移することが見込まれます。一方で、欧州での地政学リスクを背景としたサプライチェーンの混乱に伴う物流コストや、鋼材やアルミ材といった主要原材料価格の高騰は、足許では調整局面を見せるものの高止まりが継続しており、日米金利差拡大に伴う急激な円安の進行が拍車をかけ、当社の業績に大きな影響を及ぼしております。

当社はこのような環境変化に対応するため、原価低減活動の継続に加え、価格転嫁を実行しており、その効果により、売上高及び利益面で大幅な改善が見込まれ、前回公表値を上回る見通しであることから業績予想の修正を行います。

② エアフィルタ事業

主要製品である、ビル空調用フィルタの交換需要は回復傾向にありますが、通期では前回公表値をわずかに下回る見通しです。

一方、利益面では、原材料価格の高騰に対して価格転嫁を実施したことや、生産効率の向上や経費削減効果により、増益が見込まれることから業績予想の修正を行います。

なお、2023年3月期の想定為替レートにつきましては、米ドル145円、ユーロ144円に変更いたします。今後、市場環境の変化が業績等に影響を与える場合には速やかに開示いたします。

【ご参考】事業セグメント別の見通し（2022年4月1日～2023年3月31日）

（単位：百万円）

セグメント		前回発表予想 (A)	今回発表予想 (B)	増減額 (B-A)	
売上高	内訳	合計	17,800	19,230	1,430
		建機用フィルタ事業	15,000	16,530	1,530
		エアフィルタ事業	2,800	2,700	△100
営業利益	内訳	合計	700	1,380	680
		建機用フィルタ事業	660	1,300	640
		エアフィルタ事業	40	80	40

以上